

業種別景況予測

平成27年4月～6月

						
	特に好調	好調	まあまあ	やや不振	不振	きわめて不振
部会	1～3月 (実績)	4～6月 (見通し)	概況			
寝装 リビング			「最近加工工場の倒産・廃業が顕著である」とのコメントが寄せられた。また、仕入価格は依然として高く加工単価も不変となっているため、資金繰りが厳しくなる様子である。			
繊維 ファッション			「中央と地方での景況の差が縮まらず先行きに不安がある」「リアル対バーチャルの戦いにおいてリアルが負けている」とのコメントが寄せられた。			
工業			「自動車部品は減少しているが建機部品については順調に推移している」「先行き不透明」「販売状況悪化」「特に大きな変化はないが、電気料金の値上げによる加工単価の更なる上昇が懸念される」「今年になって好転」とのコメントが寄せられた。			
建設			「メンテナンスは通常量あるが、新規の建造物設備投資はない」とのコメントが寄せられた。また、大阪府全体での着工については弱めの動きではあるが、泉大津管内ではリフォームを中心に動きつつあるようである。			
運輸倉庫			「人材確保や残業時間管理、ルール通りにドライバーを休ませる等、労務管理など問題が多い」「ドライバー不足と物流量の減少」「取扱い貨物により動きの良悪が極端。高価格なものから低価格のものまで片寄ることなく取扱いが必要」「変動もなく落ち着いている」とのコメントも寄せられた。			
金融理財			「たまたまの売上増加があったが、業績としては不変の状況」「物事はプラス思考で考えるようにしている」「新規参加が増加しているが、廃業も多い。ニーズがあるため果敢な意欲を持ち続けるしかない」「同業者間競争が新規参加もあり激化している」とのコメントが寄せられた。			
一般商業			「原材料仕入額が上がり、売価を上げられない状態」「少子化により1家族当たりの消費量が減ってきている。大量生産品との差別化が業界共通の課題」「高額商品については購入よりレンタルにニーズがあり商品の選定が大変」とのコメントが寄せられた。			
サービス業			「他店にはない自店の強み・ウリを出していくのが大切」「貸切バスの運賃・料金制度が改正されたことによりバス代金が1.5倍になり大変高くなっている」また、飲食店からは「大手の値下げによる客数の減少。個人商店独自のイベント等をしなければ収益に繋がらない」とのコメントが寄せられた。			

(調査概要) ●調査実施 平成27年5月 ●調査対象企業 259社 ●回答数114社

管内企業をとりまく諸条件を考慮し、各企業が「景況」をどのように予測しているのかについて、継続的に調査し発表しています。調査は、四半期毎にとらえており、通常のシーズンの動向が理解できるようにまとめました。この「景況予測」が「結果」と比べてどうであったか、また、各々の業界対策・企業経営の一つとして、参考にいただければ幸いです。

～調査機関～ 泉大津市田中町10番7号 泉大津商工会議所 中小企業相談所 TEL 0725-23-1111

